

# 慶應言語学コロキウム

## Labeling, Search, and Principled Universal Properties of Languages

[企画・講師] 宗像 孝 氏(横浜国立大学)

[講師] 後藤 亘 氏(東洋大学)

[講師] 刺田 昌信 氏(上智大学国際言語情報研究所)

[講師] 杉本 侑嗣 氏(上智大学大学院／日本学術振興会特別研究員)

[日時] 2017年7月8日(土)・9日(日) 各回13:00~18:30

[会場] 慶應義塾大学三田キャンパス東館 6 階 G-Lab

\*参加費無料・事前申込不要(会場にて参加者カードへの記入が必要となります)

Chomsky (2013, 2015) は、Labeling Algorithm と minimal search を組み合わせ、labeling の可否から、EPP effect、freezing effect、that trace effect、successive cyclic movement の根拠を統一的に導き出した。本コロキウムでは、search の適用の有無から labeling の可否を導くことによって、更なる広範な経験的事実を捉えられることを示す。そして、統語現象に原理的な根拠を与え、Universal Grammar の研究に新たな方向性をもたらす可能性を追求する。杉本の研究では、pair merge が search の可視性に影響を与えることを示し、定型節と不定型節を中心に C と T の関係を説明する。宗像の発表では、範疇の有無と search の可視性を結び付けて、「と」の分布の説明を試みる。刺田の発表では、search の可視性を決める feature によって、日英語を中心とした差異を説明することを示す。後藤の発表では、search の範囲から labeling の可否を導き出し、移動現象などの性質をあぶりだし、labeling が統語現象の根本を成すことを示す。

[お問い合わせ先]

〒108-8345 港区三田2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所  
電話：03-5427-1595(事務室直通) メール：genbu@icl.keio.ac.jp  
<http://www.icl.keio.ac.jp>